



議会だより

No.
115

2026

8.15

6月・7月議会の内容をお伝えします

ありがとう、まちのヒーロー



18年間
走り抜いたよ！

次の世代へ
バトンタッチ！



安心を、未来へつなぐ



長年の出動に
感謝を込めて

地域とともに18年。

市民の安全を守ってきた消防団第3分団・第5分団の消防ポンプ車2台が、まもなく役目を終え、新車両へ、その使命を譲ります。新しい消防車の購入に関する議案を、6月定例会の本会議での審議を経て、可決しました。(新しい車両は令和10年春に配備予定)

地域で守る、 真夏の備え

台風などに備え、市内における水害対策や水防意識の向上を目的として、さまざまな水防工法の訓練が行われています。



常任委員会の審査から

【建設環境委員会】

中小企業者への融資あっせん制度の拡充等を行う議案を審査しました。

も く じ



一般質問 / 議長公務

2～6



議会 INFO
議会の発言、まると検索！

6



議会 NEWS
政務活動費の公表

6



常任委員会の審査

7



予算特別委員会の審査
令和8年度の補正予算

7



議案と結果ほか

8

子どもが安心安全に過ごせる学校環境を！
西武鉄道開業 100 周年でまちの賑わいを！

立憲・みらい 千間 いずみ(せんま いずみ)

部活動の地域展開と安全性について
問 指導方針や生徒情報の共有方法と、遠征移動時の安全確保に関する共通基準の有無を問う。
答 学校と地域クラブで連絡・情報共有を図る。安全確保は各校の危機管理マニュアルに基づき対応。
意見 地域展開に伴い活動範囲が広がる。安全管理と責任体制を継続的に検証し、安全確保に努めるべき。

小学校の朝の開門と居場所について
問 始業前登校への認識、朝の居場所づくりの考え方や責任の所在は。
答 朝の居場所の必要性は認識しており、教職員の負担とならない体制整備を課題とし検討委員会で協議中。事故時の責任は個別判断となる。
意見 安全管理と責任体制を整理し、教職員の負担軽減と子どもの安全管理の両立を求める。



一般質問から

議長を除く26 人の議員が、市政全般について市長や教育長などに様々な角度から質問しました。

質問者がまとめた内容を、質問順に掲載します。
全文は後日、会議録に掲載されます。
公開予定は8 面をご覧ください。



本会議中継 QR コード
次の定例会の中継が公開されると、視聴は終了します

国や都の支援から漏れる労働者を守れ！
『女性健診デー』の創設で更年期対策を！

立憲・みらい 菅原 みほ(すがわら みほ)

自転車青切符と環境整備
問 青切符*制度導入に伴い、自転車ナビマークの整備を早急にすべき。
答 今年度は西武柳沢駅南口広場出口から青梅街道までの市道 115 号線に設置予定。

一人親方・個人事業主の熱中症対策
問 国や都の熱中症対策支援は「従業員を雇う法人」が対象で、市内の一人親方*や個人事業主は申請できない。市独自支援を創設できないか。
答 制度上の課題等は、東京都市長会を通じて意見や要望を申し伝える。
意見 酷暑は気候災害。命を守る対策に雇用形態の境界線は不要。市独自支援の検討を要望する。

更年期障害対策と女性健診デー
問 子育てや仕事に追われ、健康を後回しにしがちな世代へ、検査をまとめて受診できる女性健診デーの創



▲自転車ナビマーク

子ども・高齢者へ寄り添ったまちづくり！
ご存じですか？公共工事の進捗状況！

立憲・みらい 森 しんいち(もり しんいち)

高齢者等交通弱者の交通手段
問 各社会福祉法人が所有している送迎用バスを日中の使用していない時間帯に、高齢者の買物等の足として活用できないか。
答 ドライバーの確保や使用車両に係る維持経費等の課題がある。

田無警察署移転の進捗状況
問 完成までの工程・工期、運転免許更新センター設置について問う。
答 移転先の用地買収は完了。令和10年度までに実施設計、12年度に竣工・運用開始を目標としている。移転後の田無警察署に運転免許更新センターを新設するように、東久留米市長と共に要望書を提出している。

不登校・ひきこもりについて
問 不登校とひきこもりは違うのか。家庭ができること、学校ができることを問う。



▲移転が予定されている田無警察署

みどりや環境、命を守る取組を！
スマホ市役所で市民サービス向上を！

維新・民主 山崎 英昭(やまざき ひであき)

西東京市のまちづくり
問 旧ひばりが丘中学校・泉町市営住宅跡地の現状と今後の方向性は。
答 旧ひばり中跡地は、資材高騰等により検討を継続。泉町市営住宅跡地は今後検証し、方針を決定する。
問 毎年2haの緑が減少している現状と樹木の安全管理への見解は。
答 緑と都市が共存する住環境は本市の魅力。保全に取り組む。公園の樹木は安全な維持管理に努める。

猛暑・熱中症対策
問 積極的な啓発や対策と全ての公共施設に自販機設置を求める。
答 喫緊の課題と認識。引き続き様々な熱中症対策に取り組む。

システム標準化とDX推進
問 全庁業務量調査やDX推進を機にスマホ市役所*の実現を求める。
答 業務プロセスの見直しを進め、



▲緑あふれる西東京いこいの森公園

障害のある方も安心して生活できる市へ。
保谷柳沢第二学童のトイレは改善すべき。

維新・民主 下田 純一(しもだ じゅんいち)

問 保谷柳沢第二学童クラブのトイレが男女共用であり、またプライバシー配慮に欠けていると思うが、今後の改善策について問う。
答 教育委員会及び学校と調整を図りよりよい育成環境の確保に務める。

問 重度訪問介護*サービスについて一人暮らしなどの際に、引っ越し前にサービス利用時間の支給決定は可能であるのか問う。
答 引っ越し前でも可能である。

問 西東京市は障害者に対して他市と比べ厳しい、冷たいといった意見があるが市の見解を問う。
答 真摯に受け止め、丁寧に寄り添い適切な対応に努めていく。

問 フラワー通り及び住吉会館入口交差点の安全対策及び危険箇所の道路拡幅について問う。
答 安全対策を引き続き調査研究す



▲保谷柳沢第二学童クラブ

*青切符 軽微な交通違反をした際に交付される切符。
*一人親方 主に建設業において他人を雇用せず、また他人に雇用されずに施主、請負会社、施工会社などからの依頼により仕事をする方。
*重度訪問介護 重度の肢体不自由などの障害のある方が受けられる、入浴や排せつ、食事、家事支援、外出時の移動介助などのサービスを行うもの。
*スマホ市役所 スマートフォンを使って、24 時間いつでも行政手続や施設予約ができる住民サービスの総称。

**西原総合教育施設体育館にエアコン設置を！
市独自のルールでゴミ屋敷対策を進めよう**

自由民主党西東京市議団 山田 忠良(やまだ ただよし)

**屋内スポーツの熱中症対策**

問 にしはらスポーツクラブ利用者のために、体育館にエアコンを設置すべきだ。市の見解は。

答 近隣施設の確保には課題もあるが、子どもたちの安全な環境確保向け、関係機関と協議する。

不良居住建築物(ゴミ屋敷)対策

問 福祉と環境部門が連携し、深刻化する前に早期発見・介入できる市独自のルールを検討すべきだ。市の見解は。

答 物品の堆積は地域に悪影響と認識している。事案のさらなる早期対応を図るため、体制整備の在り方を検討していく。

拉致問題に関する平和人権教育

問 市ゆかりの拉致被害者・久米裕さんの事件を風化させないよう、庁舎でのパネル展示や広報で特集する

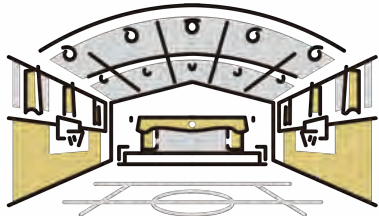
ことを提案する。市の見解は。

答 当事者意識を持つべき課題。ワークショップやパネル展示など、周知啓発方法を検討する。

若者をSNS犯罪から守る

問 闇バイトやSNS詐欺の被害・負担を防ぐため、市はどう取り組むのか。

答 警察や防犯団体と連携し、若者への啓発と情報発信を進めていく。

**不登校児童・生徒への支援の充実を求める**

自由民主党西東京市議団 とみなが ゆうじ

**小中学校の教育について**

問 全国的に不登校児童・生徒の数は増加傾向にある。令和6年度の小中学校における不登校児童・生徒数は12年連続で過去最多を更新している。市内の小中学校における不登校の実態について、進路相談やスクールソーシャルワーカーの支援は。

答 不登校の児童生徒数は本市も全国と同様となっている。進路相談については、各学校において複数回にわたって行われており、毎年の夏季休業日に、不登校生徒・保護者を対象とした進路に関する話を聞く会を都立高等学校の協力により開催している。進路の状況については、生徒の進路希望に応じた支援等の下、公立高校への進学につながっているものと考えている。なお、生徒の評定は可能な限り参考にできる資料等を

集約し活用して行っている。スクールカウンセラーの支援については教員と連携し、一人一人の状況に応じて家庭訪問による児童生徒との関係づくりなど、保護者や児童生徒に寄り添いながら解決に向けて取り組んでいる。

その他の質問

◇物価高騰対策について
◇平和事業について

**誰もが輝く、共生社会をつくりたい！**

自由民主党西東京市議団 酒井 ごう一郎(さかい ごういちろう)

**まちづくりについて**

問 西武柳沢駅南口方面から都立東伏見公園に入るためには、横断歩道がなく、危険な横断をする状況が続いている。早急に対応せよ。

答 田無警察署と対応を協議する。

問 青梅街道に架かる柳沢歩道橋の接道する歩道の一部は、幅員が狭くなり高齢者やベビーカー利用者が安全にすれ違ふことが難しい。防災面からも早急に除却せよ。

答 令和8年度に除却工事を行う。

公園について

問 夏の風物詩である手持ち花火を体験する機会が減っている。公園での花火利用を実施すべきだ。

答 課題整理を行い検討していく。

問 西東京いこいの森公園のスケート広場は劣化が進み、安全面が心配だ。計画的な改修を実施せよ。

答 経年劣化もあり改修が必要と認識している。総合的に判断する。

平和学習について

問 辺野古沖の事故に関し、文科省は同志社国際高校の教育内容を教育基本法違反と認定。特定の政治的主張を誘導する教育は、平和学習でなく政治教育だ。教育長の見解は。

答 公正かつ客観的な立場で教育活動を行う。



▲ベビーカーと歩行者がすれ違えない柳沢歩道橋横

**支えを必要とする人だけでなく
支える人にも寄り添う市政へ**

自由民主党西東京市議団 佐藤 大介(さとう だいすけ)

**老老・認認介護の可視化について**

問 老老介護や認認介護*は、介護者の孤立や共倒れにつながる深刻な課題である。支援につながっていない潜在的な世帯をどのように把握し、支援へ結びつけていくのか伺う。

答 地域包括支援センターによる訪問や見守り活動を実施している。今後はICTを活用した見守りサービスの導入についても検討していく。

意見 真に支援が必要な方ほど行政につながっていない場合がある。待つ支援ではなく、早期発見・早期支援につながる仕組みづくりを求める。

支援する側を守る福祉施策について

問 介護や障害福祉の現場では、利用者等からの暴言や暴力、過度な要求などが課題となっている。市の認識と対策について伺う。

答 カスハラ*は職員の意欲低下や離

職につながる可能性がある」と認識している。都の相談窓口の周知や関係機関と連携した支援を行っていく。

意見 福祉を守るためには、まず福祉を支える人を守らなければならない。安心して働き続けられる環境づくりを求める。

その他の質問

◇社会的障壁について
◇感覚過敏のある方への配慮

**西東京市が目指す探究的な学習とは**

自由民主党西東京市議団 中川 清志(なかがわ きよし)



問 西東京市が目指す、探究的な学習とは何か。

答 探究的な学びのサイクルは、子どもたちの学力の定着に向けた資質・能力を育成するための必要な学びの在り方。単に知識や技能を習得するだけではなく、習得した知識や技能を活用しながら、自ら課題を見だし、多様な他者と協働し、考えの自己形成を図る力。課題を見だし、主体的に課題解決に関わり、課題を解決していく中で次の課題を見出す学習の過程そのものが、育成すべき資質・能力。本市では、知識と現実の事象を関連づけた学びについて、各教科における取組に加え、ふるさと探究学習を全ての学校で教育課程に位置づけ、地域を学習材として探究学習的な学びの過程を重視した取組も推進している。各校の取

組事例の共有や情報交換を行い、探究的な学びに関する指導力向上に努めている。明らかな解決法が存在しない課題や批判的に考える必要がある課題を取り上げた指導も行う。デジタルの活用も、上向台小学校等3校で研究校に指定され、成果が見られている。地域コーディネーターとの連携も、取組事例の共有等、各校の実践に生かしている。

**市の様々な業務でのAI活用と取組は？
AIリテラシー教育について**

自由民主党西東京市議団 坂井 かずひこ(さかい かずひこ)



問 生成AIをはじめとするデジタル技術は人類の働き方や社会構造そのものを変えようとしている。行政サービスを維持することが難しくなる時代が確実にやってくると思うが、生成AIやAI技術全般について、今後自治体運営の中でどのような位置づけで考えているか伺う。

答 AIの活用については社会全体で急速に広がり、今後これまで以上に日常生活においてAIに触れる機会が増えていくものと考えている。本市においてもこうした社会の変化に対応するため、AIをはじめとしたデジタル技術の活用を積極的に推進し、行政サービスの利便性の向上や行政運営の効率化を図り、持続可能な行政運営に向けた取組を進める必要性を認識している。

問 生成AIは既に企業や大学、行政の現場でも活用が進み、今後、子どもたちが社会に出る頃にはAIを活用することが当たり前になると考えている。見解を伺う。

答 授業等において意図的・計画的に活用することが重要であると捉えている。タブレット端末で生成AIの仕組みや効果的な活用の仕方を知りながら、有効な活用方法を検討している。



*老老介護、認認介護 老老介護：高齢者の介護を高齢者が行うこと。主に65歳以上の高齢の夫婦や親子、兄弟などのどちらかが介護者であり、もう一方が介護される側となるケースを指す。

認認介護：高齢の認知症患者の介護を認知症である高齢の家族が行うこと。

*カスハラ(カスタマーハラスメント) 利用者等から職員に対し、その業務に関して行われる著しい迷惑行為であって、職員の勤務環境を害するもの。

V

市内自転車駐車場2時間まで無料へ!!
宅地開発の新設道路は無電柱化とすべき

自由民主党西東京市議団 稲垣 裕二(いながき ゆうじ)

市内自転車駐車場2時間無料制
問 これまで利用開始から2時間までの無料制導入を求めてきたが、検討結果は。
答 10月より最初の2時間まで無料とし、一時利用料金を10時間100円とする。あわせて定期利用の料金を統一する。
意見 新制度への移行の告知と駅周辺の放置自転車対策も願います。

無電柱化について
問 都は、10月より宅地開発に伴う道路新設について、環状八号線の内側は原則無電柱化とすることとした。西東京市内においても、宅地開発の新設道路については原則無電柱化とすべきと考えるが、見解は。
答 都は最終的には都内全域を目指すようである。動向を注視する。
問 事業者は都の補助制度が利用

でき、負担が少なくて済む。早急に進めるべきだが、市側にデメリットはあるのか。
答 市としてどのような対応が可能か検討する。

下野谷遺跡ガイダンス施設
問 遺跡公園の隣地又は超近接地に早急に設置をすべきである。見解は。
答 早期に整備が必要と考える。設置に向けた検討を進める。



▲田無駅南口自転車駐車場

V

「田無」の西東京市だからこそ
米作りを「自分事」とすべき

自由民主党西東京市議団 保谷 なおみ(ほうや なおみ)

問 介護ロボットやICTを活用した介護現場の生産性向上は急務だ。西東京市の現状をお聞きする。
答 昨年度実施した介護事業者に対するアンケートでは、ICT機器や介護ロボットを利用しているとする回答が66.4%と3年前に比べて15ポイント以上高くなっており、ICT機器等の導入による生産性向上の取組は介護現場で進んでいるものと認識している。
意見 こういったテクノロジーは導入時に負担が一時的に増加する。余裕のない中小事業者へは行政の支援が必要だ。
問 保育園に通う3歳から5歳の児童の給食費は有償だ。無償化するなら、幼稚園児分も含めて無償化すべきと考えるが、費用はいくらになるか。
答 2億8千万円と試算している。

意見 全額市負担では市財政を圧迫する。
問 公立小中学校における米作り学習の現状はどうなっているか。
答 小学校は18校中12校で実施しているが、中学校での実施校はない。
意見 「令和の米騒動」はまだ記憶に新しい。「田無」の西東京市だからこそ米作りを「自分事」とすべき。



▲田無小学校の米づくり

V

太陽光パネルについて

無所属 長井 秀和(ながい ひでかず)

問 太陽光パネルの設置状況と防災について伺う。緑被率算出で定義されている樹林地、草地、農地であったところが太陽光パネル設置により失われたのは西東京市内でいかにあるか。災害時の太陽光パネルの設置の影響についても伺う。火災発生時に太陽光パネルの蓄電池からの感電リスクを考えて、通常の消火活動に取り組みめないとの事例もある。太陽光パネル設置を前提とした防災に関して、西東京市としては考慮、改善はされているのか。
答 西東京市における緑被率については、みどりの基本計画を策定する際に調査を行い、把握に努めているが、太陽光パネル施設の設置に起因する緑の減少はない。また、西東京消防署からは、電気が誘因となる火災の場合は二次火災の危険が大き

く、太陽光パネルに対する消火活動について注意が必要となると伺っている。消防団による消火活動の際にも危険が生じないよう、消防団幹部会議にて西東京消防署から説明いただくなど、注意喚起に取り組んでいる。



V

流行感染症、市内配布ごみ収集チラシ、
シティプロモーション、ドッグランについて

自由民主党西東京市議団 小林 たつや(こばやし たつや)

問 現在流行中の感染症に対しての市の認識を伺う。
答 新型コロナは微増、インフルエンザは落ち着いている。「謎風邪」は認識している。麻疹は30代までの患者が9割を占め、通常より約10倍多い。
意見 医師会と連携し、予防接種体制や情報提供を進めてほしい。
問 市内で散見されるリフォームやごみ収集のチラシについて伺う。
答 市では、エアコンとLED照明の一部助成は行っている。廃棄物の回収は市の許可が必要。チラシにあるような業者に渡さず市へ相談されたい。
意見 無料廃棄物を積んだ後で料金請求される場合もあり、注意喚起を!
問 ドッグラン建設について伺う。
答 新指定管理者と団体が相談を行う予定。今後も自主事業を考えてい

ると伺っている。
意見 そろそろ常設のドッグランをいこいの森に開設せよ。
問 シティプロモーションの考えは。
答 愛着や誇りを育て、ここに住みたい、訪れたいという街を目指す。
意見 シネマクラブ等の皆様の協力を得、映画祭の優勝監督などに賞金を出し、市民参加で市のプロモーションビデオを作成するべきだ!



▲ドッグランのイメージ

V

利用者ニーズに合わせた相談体制の拡充を
障がい福祉施策をまちづくりの視点で推進

西東京市議会公明党 田代 伸之(たしろ のぶゆき)

問 仕事や子育てなど、様々な事情により来庁が困難な方の相談に対応するためオンライン相談体制の拡充を求めてきた。検討状況を伺う。
答 オンライン相談は、市民の方に様々な利便性を提供できるものと考え、今年度のBPRの取組も踏まえ、推進に努める。
問 5歳児健康診査導入を目指す上で、乳幼児期から就学期へ切れ目ない支援のためのフォローアップ体制の構築が重要と考える。教育委員会との連携も含め、方向性を伺う。
答 児童発達支援センターを中心に、関係分野、関係機関と連携、教育委員会との意見交換を進め、フォローアップ体制の構築を目指す。
問 若者への住居費等の支援について、今年度開催される「若者会議*」の中で検討し、その提案を事業に反

映すべきと考える。見解を伺う。
答 若者会議からの意見や提案を基に、庁内検討・協議を進める。

**次期障害福祉計画・
障害児福祉計画策定に向けて**
意見 障がい福祉施策は、障がいのある方やご家族だけが支え合うのではなく、まち全体で支え合う、まちづくりの視点で推進すべき。その理念を反映することを求める。



▲児童発達支援センターイメージキャラクター「ひいらぎちゃん」

V

旧ひばり中跡地「避難広場」の位置づけを!
駅前喫煙所設置と併せて「条例制定」を!!

西東京市議会公明党 八矢 好美(はちや よしみ)

旧ひばりが丘中学校跡地
問 更地になって4年が経過した。以前の答弁より、更地でも相当な維持費となっている。見解は。
答 学校用地として、スケジュールが後ろ倒しになる。暫定活用について、公民連携事業の実施の可能性を、改めて調査・検討する。
意見 さらに時間を要してしまう。改めて方針を示していただきたい。
問 緊急時の「避難広場」として開放していただきたい。見解は。
答 避難広場の活用を検討する。

喫煙対策
問 道路・公園・駅周辺でタバコの吸い殻のポイ捨てが見受けられる。市要綱は公共場所と防止地区での啓発にとどまり、他地域では市民が注意する根拠がない。市は喫煙者・非喫煙者の共存社会として、駅前コン

テナ型喫煙所の設置を予定しているが、市内全域のマナー徹底のため「条例制定」する必要がある。見解は。
答 多摩地区の条例制定自治体のうち、多くが喫煙所を設置している。
問 罰則を設けている市の数は。
答 26市中15市である。
意見 喫煙所設置と併せて「条例制定」を!罰則は、市民ボランティアの意見を聞き、市が見解を示すこと。



▲旧ひばりが丘中学校跡地

*若者会議 若者が市政に参画するための仕組みなどを検討する会議。

**「未来志向」でまちづくりを進めつつ、
現下の物価高対策にも早期の対応を！**

西東京市議会公明党 大林 光昭(おおばやし みつあき)



問 地域での防災に関する人材育成へ、若い世代が参画できる環境づくりを進めるべき。

答 次世代を担う若者の防災活動への参画は有効。防災分野で若者が参画できる環境整備を検討する。

問 男性にもHPVワクチン*接種の費用助成をすべき。

答 東京都が区市町村の接種費用助成に対する補助事業を開始しており、今後の対応を検討する。

問 田無第三中学校の建て替えは、隣接地を購入して敷地面積を確保しつつ、歩行空間も整備すべき。

答 敷地拡充の検討を進める。

問 西東京市の教育は、10年先を見据えたビジョンを示すべき。教育の充実へ、ネイティブ講師による英語授業の充実やアスリート等との協働による教育活動も提案している。検

討状況を問う。

答 本市が目指す教育の方向性を示すことは必要。来年度からの次期教育計画策定で検討する。ネイティブ講師との対話を増やして英語教育の充実を図るとともに、オリンピック等による授業を検討する。

意見 原油の供給不安や価格高騰の影響に配慮し、早期に補正予算を組んで物価高対策を講じるべき。

**西東京市のごみ減量は全国トップクラス
市民の努力と工夫に見合った視点が必要では**

日本共産党西東京市議団 中村 すぐる(なかむら すぐる)



問 西東京市のごみの排出量は、昨年7月に発行されたECO羅針盤によると全国で4番目に少ない状況である。さらなるごみ減量に向けての現状認識と今後の取組は。

答 循環型社会*の構築に向けて、さらなる減量と資源化を進めていく必要があると認識している。

問 プラスチック容器包装類のごみについて、西東京市では有料となっているが、多摩地域で7自治体が無料になっている。プラスチック容器包装は資源化されることも踏まえて、無料化の検討をするべきでないか。

答 一般廃棄物処理手数料については、原価計算においてコスト増の要因により現行手数料とは乖離があるのが現状である。

意見 市民のごみ減量の努力と工夫が積み重なっていることは大いに評

価できることである。その状況を勘案し、一般廃棄物処理手数料の原価計算における受益者負担の割合については見直していく必要がある。

その他の質問

◇はなバスの運転手不足への対応

◇現役世代を含めた孤立死の予防策

◇成年後見制度の法改正への対応他



▲プラスチック包装類専用ごみ袋

**中東情勢と消費減税の市財政への影響は甚大
特定目的基金の活用で財政危機に備えよ！**

無所属 納田 さおり(のうだ さおり)

**中東情勢の市内産業への影響**

問 土建業では小規模事業者や一人親方は高騰する材料を確保できず、廃業を考え始めていると聞く。早急に支援の手立てを構築すべき。

答 国はナフサ由来製品の供給量は十分としているが、中小企業、個人事業主は手に入りにくい状況。商工会と連携し、伴走型支援を強化する。

特定目的基金の活用について

問 食料品消費税減税による地方消費税交付金の減額の試算は8～10億円。財調基金は約25億8千万円。激変する社会経済への即応を目的とする特定目的基金の創設が必要だ。

答 経済情勢による財源不足には、引き続き財政調整基金を活用する。

デジタルを活用したカスハラ対策

問 長時間のクレーム電話は職員に精神に大きな影響を与える。通話録

音・自動文字化し、必要に応じて上司が介入できるシステムの導入を。

答 市職員カスタマーハラスメント対策基本方針を基に対応を強化する。

公民館は地域人材育成の中核施設

意見 市に引っ越してきた方から、公民館がすごい、企画事業が多様で魅力的、職員の質が高いと評価された。シビックプライドの拠点として公民館を守っていくべきである。

**いじめをなくす学校文化を作ろう
下野谷遺跡にガイダンス施設の早期設置を**

西東京市議会公明党 藤田 美智子(ふじた みちこ)



問 いじめ根絶を求めてきた。傍観者をつくらない施策と「いじめ防止宣言」の現状は。

答 他者尊重を学ぶ平和人権教育は、いじめ未然防止に直結する。児童生徒が主体となる「いじめ防止宣言」の作成は、傍観者にならないリーダー育成や雰囲気醸成に繋がっており、一層取組を強化する。

問 平和事業の重要性を訴えてきた。今後と1期生への対応は。

答 ワークショップ対象を小5からに拡大し、平和大使の募集人数も14人に増員する。昨年度の1期生にも先輩として参画を求め、一過性で終わらず平和の文化を次世代へ紡ぐ。

問 介護保険の課題と取組は。

答 人材確保や認知症支援、介護予防。本市は85歳以上が多く要介護認定率が高いが、フレイル予防等により

認定率は横ばいで、健康寿命が延伸している。国の方針を踏まえ、次期計画を策定する。

問 下野谷遺跡のガイドモニターの効果とガイダンス施設の検討状況は。

答 ガイドモニターはいつでも臨場感ある解説に触れられる効果を確認。ガイダンス施設は指定地内の建設が難しく、近接地域での早期整備に向け関係機関と協議・検討する。



▲下野谷遺跡ガイドモニター

**視覚障害者ガイドヘルパー制度の充実を
後期高齢者医療の資格確認書交付の問題点**

日本共産党西東京市議団 やまき 明美(やまき あけみ)

**視覚障害者の
ガイドヘルパー制度について**

問 視覚障害者の同行援護制度はガイドヘルパーが不足している。市外の事業所や複数事業所の利用及び月40時間の利用上限を増やすことは可能か。

答 市外事業所、複数事業所の利用は可能。支給量が不足する場合は、個別の事情を伺い必要時間数を決定している。

意見 利用できる制度を知らなかったということがないよう、丁寧な案内に努めてほしい。

**後期高齢者医療の
資格確認書交付方法について**

問 後期高齢者医療被保険者への資格確認書の新たな交付方法を問う。

答 マイナ保険証の使用頻度や年齢により、資格確認書あるいは資格情

報のお知らせを7月中旬から下旬にかけて送付する。資格情報のお知らせ送付対象者が資格確認書の発行を希望する場合は、申請書郵送料自己負担で申請できる。

意見 申請書郵送料を自己負担とすべきではない。前回同様、全員に資格確認書を発行すれば市の郵送経費が削減できる。マイナ保険証を普及したいがための無駄な出費といえる。

**特養老人ホーム、障がい者施設を増やして！
保谷第一小の現地建て替えは慎重に検討を。**

日本共産党西東京市議団 大竹 あつ子(おおたけ あつこ)



問 本市の特養老人ホームの待機者数は672人と小平市の約5倍も多い。障がい者施設等も不足している。泉町や東伏見の市営住宅跡地を市が社会福祉法人等へ定期借地として提供、誘致し、整備を積極的に行うべきと考える。見解を問う。

答 未利用地は公共施設等跡地活用方針に基づき検討を進めていく。泉町市営住宅地等は真に必要な行政需要を検証した上で活用方針を決定していく。

意見 真に必要な事業とは困っている方のために活用することだ。最優先課題として検討をすべきだ。

問 保谷第一小の現地建て替えは約5年間、校庭が使えない、日照不足、工事の騒音にさらされるなどで児童の心身や学習に与える影響が大きい。旧ひばりが丘中学校の跡地

に田無第二中の本校舎を先に建て、その校舎を保谷第一小、保谷小、芝久保小、谷戸小、谷戸第二小とバスの送迎で仮設先として活用すれば工期もコストも児童の影響も軽減できる。選択肢の1つとして再検討すべきではないか。

答 跡地活用は学校を核としたまちづくりの視点も含めた検討が必要であると認識している。



*HPVワクチン ヒトパピローマウイルス (HPV) の感染を予防することができるワクチン。HPVは、男性では肛門がん、尖圭(せんけい) コンジローマなどの病気の原因となる。

*循環型社会 天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会。

市民から寄せられた様々な声や取組を
まちづくりに生かす、参加型の市政へ！

生活者ネットワーク かとう 涼子(かとう りょうこ)

青嵐中エリアの公共施設再編

問 保谷第一小に集会所や相談窓口・交流スペース等を複合化する方針が示されたが、住民に説明し尽くし、理解を得たと言えるのか。

答 5月の市民参加手続の結果は、基本構想・基本計画に包含する。

意見 行政主導だ。まずはエリアの将来像を市民とともに議論すべきだ。

避難所開設訓練について

問 避難者の受入れに不安を感じている避難所運営協議会がある。市はこの状況を把握しているのか。

答 運協ごとにと取組状況に差が生じており、担い手確保も課題と認識。市も積極的に関与し、横の連携や参加しやすい環境整備に努める。

身寄りのない高齢者の権利擁護

問 頼れる身内のいない高齢者が増えている。入退院時の身元保証や意思決定支援、虐待や詐欺被害防止に向け、危機感を持った対応を。

答 次期計画改定の中で、具体的な支援の方向性を検討する。

西東京市の生物多様性戦略

意見 オーズガーデンと下保谷三丁目作左衛門の森が、環境省自然共生サイトに認定された。住宅街の庭でも豊かな生態系が創出できる。ぜひ、市の戦略として打ち出してほしい。



▲保谷第一小学校

良好な住環境づくりに取り組み、
いつまでも安心して暮らせる西東京市へ

生活者ネットワーク 後藤 ゆう子(ごとう ゆうこ)

木陰の創出

問 熱中症対策、地球温暖化の緩和策として樹幹被覆率を重視すべき。今後整備予定の公園や駅前広場に植える樹木の検討状況は。

答 枝葉が地面を覆っている割合が高いほど木陰が多くなると認識しているが、落ち葉など維持管理面で課題がある。今後の整備では、様々な樹種を検討する中で樹木の特性を踏まえ、場所の用途に応じた樹種を選定する。

データセンター

問 暮らしに不可欠なデータセンター*だが、住宅街での建設に当たり住民との摩擦も生じている。市内に建設が計画された場合に、開発や地区計画に何らかし制限をかけることを想定しているのか。

答 都が策定した「まちと調和したデータセンターに向けたガイドライン」は関係部署で情報共有を図っている。市が定める大規模開発事業に該当する場合は人にやさしいまちづくり条例に基づき、事業者による近隣住民への説明会の実施及び報告、次に近隣住民からの意見書提出等が行われ、人にやさしいまちづくり推進協議会の意見を聴いた上で市として適切な指導助言を行う。



▲木陰のベンチ
(西東京いこいの森公園)

議長公務

青空のもと
わんぱく相撲で子どもたちを激励

五月晴れの爽やかな青空が広がる5月17日、西東京青年会議所主催の「わんぱく相撲」が開催され、佐藤公男議長が出席しました。開会式の挨拶に立った佐藤議長が「がんばるぞー!」と呼びかけると、子どもたちからも「おー!」と声が返り、会場は一体感に包まれました。負けて悔し涙を流す姿や、勝って笑顔が弾けるわんぱく力士たちの真剣勝負に、佐藤議長は温かい声援を送り、健闘を称えました。



▲わんぱく相撲西東京場所

登下校中の児童生徒の熱中症対策を問う
ネッククーラー用の冷凍庫設置の検討を

無所属 田村 ひろゆき(たむら ひろゆき)

問 日傘やネッククーラーの使用を許可していない学校があるのか。携帯型扇風機(ハンディファン)など、その他に熱中症対策として使用を認めているものがあるか。

答 登下校中の日傘は、全校が使用を認めている。ネッククーラーは、27校中1校でトラブル防止のため、ぬれタオルの使用を推奨している。使用時の安全面について生徒との共通理解を図り、使用が可能となるよう検討している。携帯型扇風機(ハンディファン)や電動ネッククーラーなどのリチウムイオン電池が内蔵されている機器は、発火等の危険性から使用を許可していない学校が多い。そのほか、冷感素材の衣服等、使用時の危険性等がないものは使用を許可している。

問 ネッククーラーを冷やせる冷凍庫の設置検討を。

答 現状、学校に専用のものは設置されていない。下校時に児童生徒らが自ら水道水で冷やして対処することで一定の効果を得るなどの工夫をしていると伺っている。他自治体の状況等を調査研究する。

その他の質問

◇トイレカーの今後の使用

◇公園での花火の試行実施



▲ネッククーラー

議会 NEWS

政務活動費の公表

政務活動費は、毎年度、その支出内容について収支報告書に領収書等を添えて議長に提出します。令和7年度に各会派へ交付した政務活動費の収支概要は、市議会ホームページにて公開しています。

令和7年度政務活動費(令和7年4月分から令和8年3月分まで)

会派名(人数)	交付額(収入額)	支出額	返還額※1
自由民主党西東京市議団(9人)	216万円	218万1,003円	0円
西東京市議会公明党(5人)	120万円	78万6,271円	41万3,729円
日本共産党西東京市議団(3人)	72万円	110万6,866円	0円
立憲・みらい(3人)	72万円	48万5,046円	23万4,954円
生活者ネットワーク(2人)	48万円	51万3,559円	0円
維新・民主(2人)※2	46万円	48万7,281円	0円
市民派無所属西東京(1人)※3	24万円	27万4,091円	0円
市民と市政をつなぐ会(1人)※3	24万円	31万8,010円	0円
立憲フォーラム(1人)※3※4	22万円	22万6,053円	0円

※1 返還額 各会派の支出額が交付額を下回ったため、市に返還された金額

※2 維新・民主は、令和7年4月～令和8年1月は2人、令和8年2月は1人、令和8年3月は2人

※3 市民派無所属西東京(納田 さおり)、市民と市政をつなぐ会(田村 ひろゆき)、立憲フォーラム(下田 純一)

※4 立憲フォーラムは、令和7年4月～令和8年2月の交付

議会 INFO

西東京市議会 会議録 | Q

議会の発言、まるごと検索できます！

1 QRコードから検索ページへ

2 調べたいキーワードを入力

3 読みたい発言をクリック！

スマホからでもサクサク読めます。ぜひご活用ください。



あの問題、
議会でどう
話し合われたの？

あの議員、
あのテーマで、
なんて発言したっけ？



*データセンター コンピュータやデータ通信のための装置の設置・運用に特化した建物。



常任委員会の審査から

3つの分野に分かれて、議案や請願・陳情等を詳細に審査しています。
質疑の一部を紹介します。
全文は後日、会議録に掲載されます。公開予定は8面をご覧ください。



動画視聴はここから！

委員会中継QRコード
会議録が作成されると視聴は終了します

企画総務委員会

工事請負契約の締結について

田無駅南口の工事がスタート
令和10年春の完成に向けた工程は

説明

田無駅南口交通広場道路築造工事について、制限付一般競争入札を行ったものの落札に至らず、最後まで応札のあった業者と価格交渉を行い、8億4,150万円で随意契約を締結した。工期は令和10年3月中旬までを予定。

主な質疑

問 工事の進捗スケジュールや動線確保、周辺店舗への配慮について伺う。
答 今年秋から地下工事を開始し、令和9年度には歩道やシェルター設置を進め、年末から舗装をし、完了予定。車道工事中は車両乗入れ不可期間が発生するため、安全な迂回路を検討し周知徹底する。点字ブロック移設にも配慮する。
問 「車止め」「ベンチ」等の設置意図や仕様の詳細を伺う。
答 「脱着式車止め」は西側市道への車両進入を防ぎつつ、非常時に緊急車両が通行可能とする。「可動式ベンチ」はにぎわい創出イベント時に移動・活用する。「デジタルサイネージ」は電源配置までを工事対象とし、設置は市とする。「時計塔」はロータリー中央に設置予定。「モニュメント」は南口歩道上の石のオブジェを移設する。「シェルター」は直射日光を遮る多摩産材の木製ルーバーを組み込んだ暑さ対策仕様としている。

結果 賛成全員で同意

文教厚生委員会

介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険料が特例減額されます

説明

令和7年度、8年度ともに市民税が非課税の方のうち、令和8年度の介護保険料の算定の特例により課税とみなされる方に対し、非課税として判定する段階の保険料額まで減額するよう市独自の改正を行う。

主な質疑

問 今回の改正による対象者数は。また、影響額はどのくらいか。
答 市の試算によると約70人であり、影響額は320万円程度である。
問 本改正での減免分を、市が負担するのか。
答 保険料を減額した分については、市の負担となる。
問 被保険者の申請を要さず市の職権で減額するとしているが、その理由は。
答 理由の1点目は、申請漏れを生じさせないため。2点目は、仮に賦課決定後に保険料が減額となった場合、年金からの特別徴収が中止となり、減額後の保険料を納付書で納付いただくなど、納付義務者に負担を強いることになってしまう。そのため、申請を要さず減額できる手続を採用するものである。



結果 賛成全員で可決

建設環境委員会

中小企業事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例 ほか1件

中小企業者への融資あっせん制度の
拡充等を行います

説明

中小企業向け融資あっせん制度に、新たに「中東情勢等緊急対策運転資金融資あっせん制度」の創設と、借換資金融資あっせん制度の拡充を行い、融資に係る利子補給等の助成措置の財源確保規定も整備する。

主な質疑

問 申請期間を4か月としたのはなぜか。
答 この制度は中東情勢の影響による緊急対応として実施するものであり、現在の経済状況や国の交付金の活用を踏まえて、4か月としている。
問 あっせんの要件に平均売上額と平均売上総利益の2つがある理由は。
答 物価高騰により、売上が増加している事業者も多いが、仕入れや原材料費、人件費などのコストが上昇しているため、利益が減少している事業者も少なくない。そのため、いずれかの状況が該当する場合を対象とした。
問 中小企業等資金融資検討委員会の報告書について、市の受け止めは。
答 市の融資制度は返済負担の軽減や緊急性の高い支援策等を早急に検討する必要があるとの意見を踏まえ、今回の融資あっせん制度の創設・拡充を提案した。



結果 賛成全員で可決



予算特別委員会の審査から

令和8年度の補正予算について、予算特別委員会で審査しました。質疑の一部を紹介します。詳細は後日、会議録に掲載されます。(公開予定は8面へ)

令和8年度補正予算

★一般会計(第3号)

主な補正内容

障害福祉サービス等報酬改定への対応など
増額 315万5千円

主な質疑

障害者福祉サービスの
自立支援システムを改修します

問 事務処理やサービスにどのような影響があるのか。
答 今回の臨時的報酬改定では、事業者への報酬、介護給付費、利用者の自己負担について、それぞれ増額が見込まれる。

結果 賛成全員で可決

★一般会計(第4号)

主な補正内容

中東情勢等による物価高騰対策として、国からの臨時交付金を活用した市独自の事業者支援など
増額 1億2,633万8千円

主な質疑

保育所等への支援

問 本年4月から6月まで本事業を実施していたが、こちらに関して施設側からの声は。
答 給食食材費や燃料費等への継続支援の要望が寄せられている。
問 手続が煩雑になっているが、手続方法の見直しについて、見解は。
答 事業所等と意見交換をしながら、今後検討する。

介護保険における

地域密着型サービス事業所への支援

問 周知方法は。また、オンライン申請に不慣れな事業所等への対応は。
答 案内は、全対象者にメールなどで直接伝えるほか、事業所向けの専用ページを活用するなど、漏れなく案内する。手続等不明な場合は、問合せに応じて丁寧に対応する。

結果 賛成全員で可決

令和8年 第2回定例会・第1回臨時会

議案と結果

○：賛成 ×：反対 退：退席

賛否が分かれた 議案の結果	会派名／名前																								結 果		
	自由民主党 西東京市議団									公明党※ 西東京市議会				日本共産党 西東京市議団			立憲・みらい		生活者 ネットワーク		維新・民主		無所属	無所属		無所属	
	坂井 かずひこ	酒井 ごう一郎	とみなが ゆうじ	小林 たつや	稲垣 裕一	保谷 なおみ	中川 清志	山田 忠良	佐藤 大介	大林 光昭	藤田 美智子	田代 伸之	八矢 好美	中村 すぐる	大竹 あつ子	やまき 明美	森 しんいち	菅原 みほ	千間 いずみ	後藤 ゆう子	かとう 涼子	山崎 英昭	下田 純一	納田 さおり		田村 ひろゆき	長井 秀和
条例制定																											
特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他																											
議員提出議案第3号 消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬などの薬の追加負担を行わないことを求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	×	退	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	可決

※ 議長 佐藤 公男は採決に加わりません。

全会一致の議案等

件 名	結果
令和8年度 補正予算	可決
一般会計（第3号）	
一般会計（第4号）	
条例 改正	可決
個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	
介護保険条例の一部を改正する条例	
中小企業事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例	
中小企業事業資金融資あっせん基金条例の一部を改正する条例	
その他	承認 可決 同意 可決 可決
市税条例の一部を改正する条例の専決処分について	
都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分について	
財産の取得について	
工事請負契約の締結について（2件）	
市道路線の認定について（2件）	
委員会提出議案第1号 中東情勢の緊迫化に伴う資材等の供給不安や価格高騰への対策強化を求める意見書	

陳情の結果

()は付託委員会

採 択 ○消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことに関する意見書の提出を求める陳情 (文教厚生)

一部採択* ○中東情勢の緊迫化に伴う建設資材の供給不安や価格高騰への対策強化、及び国、都への意見書提出を求める陳情 (建設環境)

不採択 ○公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情 (文教厚生)

*一部採択 1件の請願・陳情のうち、一部の項目または部分を採択すること

定例会のお知らせ

第3回定例会は8月28日金から開催予定

■請願・陳情の提出

提出は随時受け付けしており、直近の定例会で審査等の取扱いの協議を行います。第3回定例会は、次の日程までに受理された請願・陳情が対象です。

▶請願 8月26日水 ▶陳情 8月21日金

※変更がある場合は、ホームページでお知らせします。

会議録を公開しています

会議録は、図書館や市役所の情報公開コーナーで閲覧できます。

【会議録の公開予定】 令和8年 第2回定例会・第1回臨時会

会議名	冊 子	ホームページ
・本会議	・市内図書館 ・情報公開コーナー ・議会図書室	8月中旬 8月下旬
・常任委員会 ・議会運営委員会 ・予算特別委員会	・情報公開コーナー ・議会図書室	9月中旬 9月下旬

会議録専用ページはこちら

令和8年熊本地震により被災された皆様へ
心よりお見舞い申し上げます

このたびの熊本県を中心とする地震により被災された皆様、並びに
そのご家族の皆様にも、心よりお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復旧・復興と、皆様の安全とご健康を心より
お祈り申し上げます。

西東京市議会議員一同

議会 NEWS

第1回臨時会より

令和8年7月6日開催

市内事業者の事業継続支援に向け、国や東京都の補助金を活用した本市独自の支援事業を実施する議案を審査する臨時会が開催されました。

議案一覧

☑ 一般会計補正予算(第4号)…市独自の事業者支援等のため

☑ 中小企業事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例

☑ 中小企業事業資金融資あっせん基金条例の一部を改正する条例

詳しくは7面へ

予算特別委員会の審査から

常任委員会の審査から